



見附市立名木野小学校
学校便り 4月号

令和8年4月17日
TEL 0258-62-0091

(URL) <https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/nagino/>
(E-mail) mitsuke.nagino-es@edu-niigata.ed.jp

「楽しい学校」をつくろう

校長 矢嶋 義宏

この度、名木野小学校の校長として赴任して参りました。素直な子どもたちとあたたかい保護者、地域の皆様、「希望と飛躍」を教育目標に掲げる名木野小学校に赴任できたことを本当に喜んでいきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

始業式では、次のように子どもたちに話をしました。

校長先生は、絶対に譲れないことがあります。
それは、名木野小学校を「楽しい学校」にすることです。
きっと、それはみなさんも同じだと思います。
そのために、先生たちはがんばります。
そして、みなさんにも、是非、がんばってほしいと思います。

楽しくするためには、3つのコツがあります。

- ① 一生懸命にすると、楽しい
- ② 助け合うと、楽しい
- ③ 工夫すると楽しい

このことを通して、名木野小学校が「楽しい学校」になると同時に、みなさん一人ひとりが「新しい自分」へと進化（成長）していくことができます。



現在、世界では経済協力開発機構（OECD）が提唱する「ウェルビーイング」という考えが大切にされています。「ウェルビーイング」とは、「肉体的、精神的、社会的な持続可能な幸福」を意味します。国際連合が行っている2026年の「世界幸福度ランキング」では、日本は61位でした。これは年々下降傾向にあり、G7では最下位という結果です。このような状況から日本の政府は、様々な分野で「ウェルビーイング」の考えを導入し、これまでの日本の教育の在り方についても見直していこうとしています。

そして私は、この「ウェルビーイング」を実現するには、様々な状況の中で「楽しむ」という姿勢がとても大切であると思うのです。これまでの日本の教育で重視されてきたことのひとつとして、「自分の足りなさに目を向けて、ひたむきに努力し続けること」が挙げられます。自己を反省的に見つめ、より価値ある自分へと高めていくことは、とても尊いことです。しかし一方で、いつまでも成就感を得られない、自己肯定感の低い子どもが育ってしまったといった反省もあります。

始業式が終わり、子どもたちが体育館から各教室に移動し始めたとき、不意に2年生の子どもが、誰に向かってということもなく、次のように言いました。

よおーし、学校を楽しむぞう！

私は、この言葉に、新しい名木野小学校の力を感じて、とても嬉しくなりました。

34人の1年生が入学しました

4月9日（木）に1年生34名が入学しました。1年生は担任に名前を呼ばれると、とてもいい表情で「はい！」と返事をしていました。1年生を迎えた2～6年生の児童も、思わず笑顔になり、とても嬉しそうでした。保護者の皆様ご入学おめでとうございます。

